

平成22年3月期 第1四半期決算概要と 今後の見通しについて

(株)今仙電機製作所
代表取締役社長 増谷 修

東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I . 第1四半期決算の状況 (前年同期比較)

百万円	前期実績 H21年3月期 第1四半期	当期実績 H22年3月期 第1四半期			(期初予想) H22年3月期 第1四半期
			前年同期比	増減(%)	
売上高	24,404	↓ 14,936	9,468	38.8%	13,900
営業利益	1,683	↓ 105	1,578	93.8%	20
経常利益	1,417	↓ 429	987	69.7%	340
四半期純利益	780	↓ 75	705	90.4%	20
1株当たり 四半期純利益	43.92円	↓ 4.27円	39.65円	90.3%	1.13円

POINT

前期からの世界的な自動車減産の影響により売上高が大幅に落ち込む厳しい状況となりましたが、四半期単位での営業黒字化を達成できました

百万円	前期実績 H21年3月期 期末	当期実績 H22年3月期 第1四半期末	前期比		備考
			前期比	増減 (%)	
総資産	53,725	52,903	821	1.5%	
純資産	26,001	26,575	574	2.2%	
自己資本比率	46.7%	48.5%	-	-	
1株当たり純資産	1,423.63円	1,457.17円	33.54円	2.4%	

POINT

前期末と比較し、総資産の圧縮が続く一方で、純資産がやや増加し、自己資本比率の改善が続いております

事業の種類別セグメント:自動車部品関連事業



百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車販売 関連事業
外部売上高	H21/6期	↘ 14,007	↘ 461	↗ 269	↘ 198
	H20/6期	22,989	893	242	278
	増減	▲8,982	▲431	26	▲80
営業利益	H21/6期	↘ 106	↘ ▲29	↗ 36	↗ ▲13
	H20/6期	1,600	79	14	▲15
	増減	▲1,493	▲108	22	2

POINT

景気低迷の影響から、自動車部品関連事業・ワイヤーハーネス関連事業が減収減益となる一方で、福祉機器関連事業は堅調に推移しました

事業の種類別セグメント:自動車部品関連事業



得意先系列別 売上高構成

百万円

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	10,273	44.7%	↓ 7,198	51.4%	▲3,075	▲29.9%
日産自動車(株)	2,994	13.0%	↓ 2,741	19.6%	▲253	▲8.5%
三菱自動車工業(株)	4,014	17.5%	↓ 1,358	9.7%	▲2,655	▲66.2%
富士重工業(株)	1,248	5.4%	↓ 828	5.9%	▲420	▲33.6%
マツダ(株)	869	3.8%	↓ 583	4.2%	▲285	▲32.9%
ダイハツ工業(株)	257	1.1%	↑ 268	1.9%	10	4.2%
いすゞ自動車(株)	381	1.7%	↓ 140	1.0%	▲241	▲63.3%
その他	2,950	12.8%	↓ 888	6.3%	▲2,062	▲69.9%

POINT

- ホンダ系列向けは減少
- 日産系列向けは小幅減少
- 三菱系列向けは大幅減少
- ・ 北米での減産の影響
- ・ 中国での販売増が下支え
- ・ 国内減産の影響

事業の種類別セグメント:自動車部品関連事業



■製品別 売上高構成

百万円

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
シートアジャスタ	18,984	82.6%	↓ 12,136	86.6%	▲6,847	▲36.1%
ウインドレギュレータ	113	0.5%	↓ 54	0.4%	▲58	▲51.8%
ランプ	1,805	7.9%	↓ 790	5.6%	▲1,014	▲56.2%
リレー	710	3.1%	↓ 517	3.7%	▲193	▲27.2%
ホーン	344	1.5%	↓ 173	1.2%	▲170	▲49.7%
その他	1,032	4.5%	↓ 335	2.4%	▲696	▲67.5%

POINT

- 各製品とも大幅に減少
- ランプの減少幅が大きい
 - ・三菱系列向け減産が影響

所在地別セグメント:

百万円		国内	北米	アジア
外部売上高	H21/6期	↘ 9,927	↘ 2,015	↘ 2,993
	H20/6期	16,246	3,929	4,228
	増減	▲6,319	▲1,913	▲1,235
営業利益	H21/6期	↘ 163	↘ ▲132	↘ 71
	H20/6期	1,035	109	485
	増減	▲871	▲241	▲414

POINT

海外での減産の影響が本格化
 アジアにおいては、中国が堅調に推移したものの
 タイ、フィリピンで大幅減産の影響を受ける

Ⅱ. 今後の見通し

平成22年3月期 第2四半期累計 業績予想



百万円	前期実績 H21年3月期 第2四半期	当期期初予想 H22年3月期 第2四半期	当期修正予想 (09/8/7付)		
			H22年3月期 第2四半期	期初予想比	増減(%)
売上高	49,676	28,900	31,900	3,000	10.4%
営業利益	3,303	170	900	730	429.4%
経常利益	3,267	530	1,200	670	126.4%
四半期純利益	1,925	40	500	460	1150.0%
1株当たり 四半期純利益	108.22円	2.27円	28.39円	26.12円	1150.7%

POINT

上期につきましては、収益改善が進んでおり、
期初予想を上回る収益となることを予想しております

平成22年3月期 通期 業績予想



百万円	前期実績 (H21年3月期)	当期予想 (H22年3月期)		備考
		前期比	増減(%)	
売上高	86,936	↓ 62,100	24,836	通期見通しの修正は見送り
営業利益	3,687	↓ 1,530	2,157	
経常利益	2,759	↓ 1,870	889	
当期純利益	1,505	↓ 960	545	
1株当たり 当期純利益	84.73円	↓ 54.50円	30.23円	

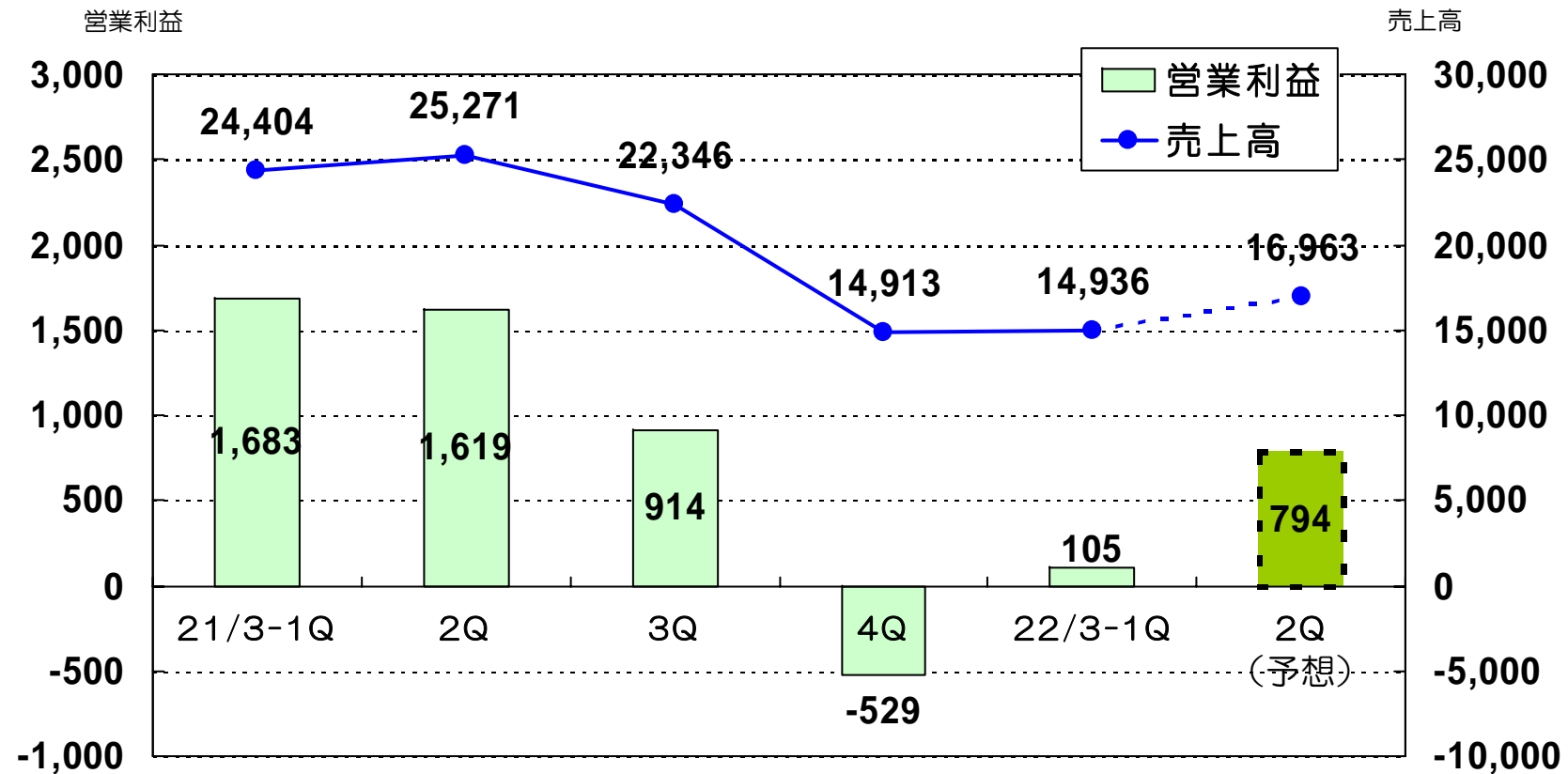
POINT

通期の業績予想につきましては、下期以降の経済動向が依然として不透明な状況にあることから現時点では変更はありません。

四半期業績の推移

■ 連結売上高・営業利益の推移

百万円



POINT

急激に落ち込んだ売上に対応した固定費の圧縮に目途がつかしました

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

今後のスケジュール (予定)

11/10 (火)

第2四半期決算発表予定

11/18 (水)

アナリスト向け決算説明会予定

IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所

経理部 経営企画課

IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>